



いわいずみ

P 2 特集 未来へつなぐ、岩泉の学び舎
～小中学校の統廃合から考える地域の明日～②

P 8 決算審査ここをチェック

P 10 野生鳥獣による人身被害を未然に防ぐ

P 12 町の考えを問う(6議員が一般質問)

P 19 どうなりゃんしたあの提言

シリーズ キラッと光る人 16

岩泉中学校特設陸上部に所属する相沢結衣さん
(2年生)

7月に開催された岩手県中学校総合体育大会陸上競技大会走高跳中学共通女子の部に出場し、見事優勝!!記録も1m 60と全日本中学校陸上競技選手権大会参加標準記録を突破し、8月に山口県で開催された同大会に出場しました。

まだ2年生。今後益々の活躍が期待されます。

※ P20 に関連記事があります。

特集

未来へつなぐ岩泉の学び舎②



令和2年3月に閉校した門小学校（写真右）と旧小川小学校（写真左）の記念写真。
両校は、令和2年4月、新設小川小学校として新たなスタートを切りました。

本議会だよりでは、第215号から全4回にわたり、本町の小中学校が歩んできた統廃合の歴史、現状、そしてこれからの未来の教育環境について、町民の皆さまとともに考える特集を組みました。第2回となる今号では、昭和から令和へ、激動の「統合の軌跡」と地域の決断について、閉校に携わった方々や閉校になった学校の卒業生の声をお届けします。

【昭和の時代】

山あいの集落を結んだ
「分校統合」の幕開け

岩泉町の学校統合の歴史は、昭和後期、人口減少や産業構造の変化が影を落とし始めた時期に遡ります。

各地域に点在していた小さな分校の本校への統合が活発化しました。

●当時の議会での議論

「通学路の安全確保」や「遠距離通学に伴う負担軽減」が主な論点となり、地域コミュニティの拠り所である学

校がなくなることへの切実な意見と、行政側の財政効率化の議論が交わされました。

【平成の時代】

少子化の加速と

「中・小規模校の再編」

平成に入ると、少子高齢化のスピードが一段と増し、より広範囲にわたる、小中学校の本格的な統合へと舵が切られます。

●当時の議会での議論

「部活動の選択肢を広げ、集団生活の中で



第215号はこちら



岩泉町歴史民俗資料館に展示されている懐かしい写真

社会性を育むため」という前向きな統合の意義が語られる一方、「スクールバスの運行経費」や「通学時間の長時間化による子どもたちの心身への影響」を懸念する一般質問が相次ぎました。

【令和の時代】

震災・災害を乗り越え、未来へつなぐ大規模統合

東日本大震災や平成28年の台風第10号豪雨災害は、岩泉町教育環境にも大きな影を落

としました。しかし、それを契機とした復興と再編の動きはさらに加速します。

●当時の議会での議論

「統合された中心校におけるきめ細やかなケア」「伝統文化や地域学習の継承方法」「残された旧校舎の活用と解体の財政負担」などが主なテーマに議論されています。ハード面の整備だけでなく、子どもたちの「心のケア」や「地域とのつながりをどう維持するか」に焦点が当てられています。

閉校に関わった方々の 当時の思いを振り返る

統合したことによって、二升石地区の一番の灯（ともしび）というか、運動会が無くなり、地域の交流の場が無くなりました。運動会では、地区の人たちも一緒に集まって、午前は子ども達の行事をやって午後は、松橋も一緒に大人の運動会です。このように、地区の明るく楽しい交流の場というものが、学校がなくなりました。学校がなくなり寂しいです。ただ、子どもたちは人数の多い所で生活し、授業も活動も楽しみも増して、一段と喜びが広がるように思います。



三上 善文さん
(元二升石小学校 PTA 会長)

仕事や私事で岩泉を訪れると、ふと当時の思い出します。中沢門、小川の各校で校長を経験したことは私の宝物です。特に忘れられないのが、閉校式に向けた卒業生への案内作業です。全国へ散らばった卒業生の行方を調べ、一通一通封筒を閉じた発送作業は本当に大変でした。しかし、届いた案内を見た卒業生たちが「母校のために」と遠方から駆けつけてくれたこと、地域や学校がどれほど愛されていたかを痛感しました。コロナ禍で閉校式ができなかった際も、会費は新しい学校で使つてとあたたかい言葉も頂きました。たくさんさんの思い出と地域の温かい絆を胸に、新たな歴史を紡ぎ始め



小野寺俊哉さん
(元新設小川小学校校長)

た子どもたちの未来が、これからの光に満ちあふれることを心から願っています。

当時、地域に閉校の説明があったのが閉校年度の初夏頃でした。急な話だったため、地域住民からは反対の意見も多く挙げられました。しかし、閉校する為の理由として、将来的な子供の教育、人口動向などの閉校に至るまでの背景を丁寧に説明した上で進めました。今となつては岩泉中学校へと統合したこと、友達も増え、その当時の友達と現在も交流を持つことができ、結果として子供にとってはとても良かったと思っています。



佐藤 幸一さん
(元大川中学校 PTA 会長)

当時の大牛内分校は複式学級で、先輩から漢字の書き順が違ふと教えてもらったことや、みんなで教員住宅に遊びに行ったことなど、覚えていきます。閉校になることを聞いたときは、なんとも言えない寂しさを感じましたが、今でも楽しかった思い出がさまざまよみがえります。

幾度も話し合つて賛成や反対など簡単にはまとまらなかった気がします。今思うと、部活動も卓球部だけでした。楽



上日向幸一郎さん
(元安家中学校 PTA 会長)



佐々木洋子さん
(小本小学校大牛内分校卒業生)

しくサッカーに興じる子の顔を見たり、不便な思いに寄り添って考えると、もっと早く決断すべきだったのかとも思います。学校行事は地区の住民の交流の場でしたから無くなることは考えられなかったことでもあります。現在は、子どもだけでなく、住民も減ってしまいました。後に残る各地の校舎の利活用が気になっています。



お詫びと訂正

いわいずみ議会だより 第215号 (令和8年7月23日号) 4ページで、【岩泉町内中学校の移り変わり】表中「国見中学校」の表記に誤りがありました。お詫びして訂正します。
誤：国見分校
正：国見中学校

野生鳥獣との適正な 共存を図る



令和7年11月に岩泉地区に出没したツキノワグマ



議決された議案の
一覧は町のホームページで
確認できます

8年第3回定例会
は、9月3日から11日
までの9日間の会期で
開きました。

3日と4日には、一
般質問が行われ6人の
議員が登壇しました
(質問の内容などは12
ページから15ページまで)。

任期満了となる教育
委員1名の任命に同意。

岩泉町立有芸小学校
を岩泉町立岩泉小学校
に統合することに伴う
関係条例の一部改正や
閉校となった学校施設
の無償貸し付け、町有
地の売却など13議案を
すべて全会一致で可決
しました。

野生鳥獣による 人身被害を防ぐ

一般会計補正予算第
3号は、鳥獣被害対策
防止緩衝帯整備事業や
放任果樹伐採支援事業
など、補正額は6億6
804万円になりました。

そのほか、令和7年
度岩泉町の財政の健全
化判断比率及び資金不
足比率と令和7年度教
育委員会事務点検評価
報告書の2件の報告が
ありました。

旧大川中学校の校舎と 同用地を無償貸し付け

閉校となった旧大川
中学校の利活用を図る
ため、通信制高等学校
を運営する(株)I
amsuccessへ
旧大川中学校の校舎と
同用地を無償で貸し付
けるための議案が可決
されました。

貸付期間は、令和8
年10月1日から令和19
年3月31日までで、同

社が運営する一ツ葉高
等学校岩泉高として令
和9年4月の開校を予
定しています。

岩手アライへ 町有地を売却

岩手アライ(株)に事
業用地として町有地を
売却するための議案が
可決されました。

場所は、岩手アライ
(株)の工場に隣接する
町有地で、売却額は
7020万1165円
です。



岩手アライ(株)の工場に隣接する町有地



学習用端末を利用する小学生

学習用端末を購入

岩泉町立学校の児童生徒が使用する学習用端末購入の議案が可決されました。

現在使用している端末を更新するもので、購入する端末は、アップル iPad 11インチです。合計380台

が納入予定で、契約金額は2717万円です。

現在使用している端末は、令和3年度から使用されており、今年度で開始から6年目を迎え、劣化がみられることから、今回の端末購入で学習環境の改善が期待されます。

教育委員の任命に同意

岩泉町教育委員会教育委員1人の任期満了に伴い、早野由紀子さん（岩泉）を新たに委員に任命することに同意しました。

任期は令和8年9月20日から4年間です。



まのすの声

学習用端末更新で学習環境が良好に

現在使用している端末は劣化により使いづらい状況であり、更新を生徒と共に待ち望んでいました。

iPad 導入と言うことで、学習・生徒とのコミュニケーション環境が良好に保たれることが期待でき、今後さらに活用していきたいと思います。



中村 翔さん
(小川中学校教諭)

副町長の選任に同意

8月18日に開催された令和8年第3回臨時会で、欠員となっていた副町長に、永井榮一さんを選任することに全会一致で同意しました。

趣味のスキーの腕前は指導者の資格を持つほどの永井さん。鉄道旅好きでもあり、早速三陸鉄道を利用して久慈市のラーメンを堪能してきたとのこと。今後のご活躍を期待します。



大川財産区管理委員の任命に同意

岩泉町大川財産区管理委員の任期が9月30日をもって任期満了になることに伴い、7人の委員を任命することに同意しました。
任期は4年間です。

前川 超さん
(釜津田字権現)
青木 久嗣さん
(浅内字上川代)
畠山 利勝さん
(釜津田字上種倉)
佐藤 章さん
(大川字大家)
佐藤 文喜さん
(釜津田字上種倉)
佐々木良彦さん
(釜津田字八重沢)
佐藤 純さん
(大川字下外山)

7年度決算

住みやすい町へ 施設整備を推進

令和7年度の決算審査では、一般会計・6特別会計と水道事業会計・下水道事業会計の総額153億円の決算を慎重に審議。全て全会一致で原案のとおり認定しました。【関連8～9ページ】

一般会計115億円の 歳出決算を認定

前年度比
2.2%減

7年度一般会計の歳出決算額は114億8669万円で、前年度比2億5907万円（2.2%）の減となりました。

減少の主な要因は、

商工費が4億4169万円（51.0%）減少したためです。

再生可能エネルギー推進事業では、地域新電力設立支援事業により、町民や町内事業者の地域新電力に対する理解を深めることを目指しました。

小川地区複合施設整備は、平成28年台風10号豪雨災害により延期を余儀なくされていた事業でしたが、令和6年8月から着工し令和8年3月に完成しました。

レクリエーション広場については、さらに親しみやすく親子が楽しめるスポットとするため、新たに遊具を整備し、子育て環境の充実を図りました。

ここでは、決算の状況と主な事業をお知らせします。



7年度決算の詳細は町のHPから



地域新電力会社設立支援

155万円



レクリエーション広場整備

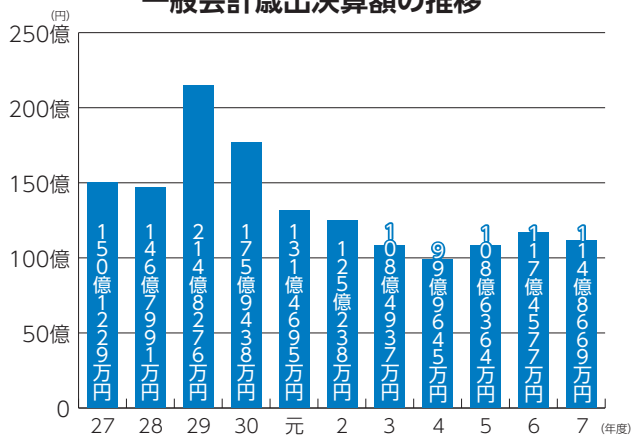
1372万円



小川地区複合施設整備

8億1273万円

一般会計歳出決算額の推移



7年度 各会計の決算額

会計名	歳入	歳出
一般会計	124億4212万円	114億8669万円
特別会計		
国民健康保険	10億3390万円	10億883万円
診療施設	3846万円	3286万円
後期高齢者医療	1億4710万円	1億4686万円
介護保険	15億1879万円	14億7450万円
サービス事業	1212万円	1119万円
観光事業	2億913万円	1億9376万円
大川財産区	435万円	427万円
水道事業	3億961万円	3億9497万円
企業会計	1億5525万円	2億340万円
下水道事業	1億7381万円	1億6678万円
資本的収支	1億1981万円	1億8944万円
合計	161億6445万円	153億1355万円

一般会計決算の内訳

決算状況はおおむね良好



箱石憲市
代表監査委員

～決算審査意見～

9月3日の本会議で報告された決算審査意見の内容を要約してお伝えします。

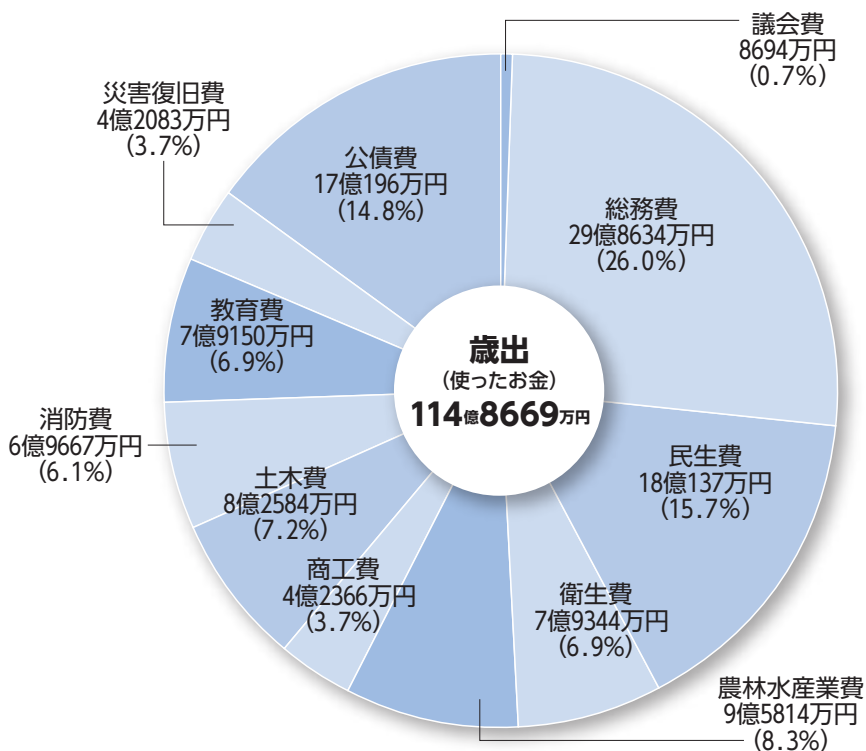
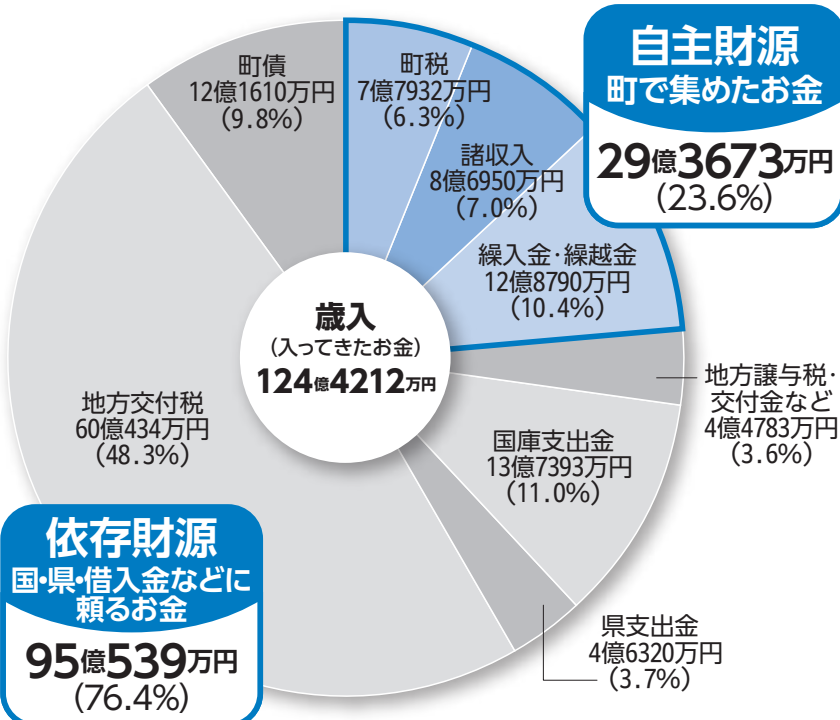
一般会計・特別会計

本年度の決算状況は、おおむね良好であった。

今後の財政運営を展望すると、人口減少や物価高騰などの社会情勢により、厳しい財政状況が続くものと予測。将来にわたり安定した行政サービスを提供するために基礎的財政収支の黒字化を堅持し、有効性、経済性、効率性等を検証し、限られた財源の中で持続可能な行財政運営に努められたい。

水道・下水道事業会計

人口減少による料金収入の減少、施設の老朽化の修繕や更新、燃料費の高騰など今後の経営環境はより厳しさを増すと考えられる。経営の効率化と透明化を進め、長期的な経営の安定を図られたい。



おしえて
ぴーちゃん

◆財政用語◆

【地方交付税】町の財政力に応じて国から交付されるお金
【国庫・県支出金】町が行う事業に対して国・県から補助されるお金
【町債】事業の財源に充てるため国などから借りたお金
【地方譲与税】国税である自動車重量税などが一定の割合で町に交付されるお金
【繰入金】積立金から取り崩したお金
【諸収入】延滞金、預金利子などのお金
【総務費】一般的な事務経費や財産管理などの経費
【民生費】高齢者や児童など社会福祉のための経費
【衛生費】集団検診やごみ処理などの経費
【農林水産業費】農林水産業の振興や農道・林道の整備、漁港整備などの経費
【商工費】商工業の振興や観光開発の経費
【土木費】町道や河川整備などの経費
【教育費】学校教育や社会教育などの経費
【公債費】事業を行うときに借りたお金の返済金

決算審査



返礼品で人気のマツタケ

ふるさと納税の動向 件数金額ともに増加

決算審査特別委員会（畠山和英委員長）は9月9日から11日までの3日間、一般会計と5特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の6年度決算を審査しました。

ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

ふるさと納税

ふるさと納税の実態は 成果表への記載を検討

問 主要施策の成果に関する報告書にふるさと納税の寄付件数や寄付金額が表記されているが、町内事業者への発注額やポータルサイト手数料などの経費、税の流出額や交付税の措置額、実質財政効果や地域経済波及効果というようなことを

表記してはどうか。

答 どういった項目を記載するか絞りながら、前向きに検討していく。

問 ふるさと納税の寄付の動向は。

答 マツタケの発送に力を入れ、事業者も増えている。事業者の中でも2000グラムコースや500グラムコースをたくさんつくって、そういった要因で1件当たりの単価が上がっている状況。また、岩泉ヨーグルトの返礼を1回ではなくて定期便、年ベースで寄附をいただいで毎月送るという工夫をした結果、件数、金額ともに増えている。

ごみ袋

指定ごみ袋の切替検討は 町独自の見直しも選択肢

問 指定ごみ袋について、現在は、指定ごみ袋以外も使用可能となっているか。

答 資材不足により、11月30日までの期間限定であるが、代替措置として指定ごみ袋以外でも排出してよいという事で周知している。

問 町独自で決定はできないまでも、代替措置を機に、指定ごみ袋切り替えの働きかけについてはどう考えるか。

答 今回の代替え措置によるクレームなどあがつてきていない状況である。また、当町は、

適切な分別が行われ、非常に良好な分別結果となっている。一方で、町内各地を見ると小売店が無い地区もあり、指定ごみ袋をなかなか購入できない方々が出てくることも懸念されることから、そういった状況を訴えながら、見直しが必要であれば議論を進める方向も選択肢と考える。

ますの声

ゴミ袋の品薄の影響 金澤 幸江さん
今後どうなるゴミ袋 (小本)

ゴミ袋が品薄の影響か、出されたゴミに袋の表記と中身が違っていることがありました。これから指定のゴミ袋はどうなるのでしょうか。指定のゴミ袋今後の町からの情報に注目したいと思います。



ますの声

嬉しい毎月の注文 佐々木美恵子さん
誠意を込めて発送 (岩泉)

中松屋では、3品を返礼品で登録しており、毎月注文が入ります。店だけではなく「岩泉町」の名前を背負っていますから、誠意を込めて発送しています。



まずの声

世代間での交流も
今後も活動続ける

子どもの居場所づくりとして、こども食堂を始めました。岩泉ならではの活動や世代間交流を通じて、良い思い出をたくさん作って、町のことを思ったり、戻ってきてくれたりすればと思い活動しています。

答 令和6年から地域団体に補助金を支出し、ボランティア活動により実施している。地元食材の使用や、こどもの遊び場的な事

問 こども食堂の運営について、町としてどのような評価をしているか。

業など各種活動により、こどもの居場所づくりとして中心的な活動をしていると認識している。

問 こども食堂の利用者に偏りはないか。

答 参加者が限定的で固定化している状況は運営団体も町も認識している。いろいろな工夫を凝らした企画を開催してもらい、町としても支援を継続していく。

問 町の代表として出場するもの、少なくとも本人に負担が



岩泉地区でのこども食堂の様子

こども食堂

こども食堂の評価は
居場所づくりに貢献

スポーツ

スポーツ大会出場支援は
補助の仕組みを検討する

問 児童生徒が出場する各種スポーツ大会への支援の状況は。

答 県大会以上を対象とし、教員が引率する学校行事と捉えられる大会のみ補助対象としており、個人的に出場した大会などについては全額保護者の負担となっている状況。

答 スポーツ全般の補助に関しては、活躍する選手に負担がからない仕組みづくりを町部局とも相談しながら進めていく。

からないよう全面支援としては。

まずの声

こども達の活躍へ
町の支援の強化を

こども園への出前講習から始まり、成長記録や技術が伸びていく子ども達をみていると、びっくりするし、元気をもらえます。伸び伸びと楽しく競技が続けられるよう、町の支援の拡充を期待します。

総括質疑

総括質疑とは、審査する案件全般に對して行うもの。総括質疑を要約してお伝えします。

千葉委員 佐々木町長

就任後、初の決算審査にあたり、今後のまちづくりへの課題意識を伺う。人口減少下で絶対値での事業成果の達成が厳しい中、今後は絶対値でなく、事業や暮らしの「質」を測る評価軸への改革が必要ではないか。また、次期総合計画（未来づくりプラン）については、計画自体を分かりやすく整理した上で、変化の速い情勢に合わせ、年度ごとのローリング、チェック、アクションといった運用強化を期待するものです。町長のまちづくりへの意気込みを伺う。



佐々木真町長

町長 人口減少時代においては「スマートシュリンク（賢く縮む）」の視点を取り入れ、公共施設の見直しを進めつつ、町民の生活の質を高めるまちづくりを目指す。新たな総合計画は、中高生の教材になるような分かりやすさやビジュアル面を意識し、町民や職員と将来像を共有できるものになりたい。結果の数値評価だけでなくプロセスの質も重視し、投資すべき分野にはしっかりと投資を行う。岩泉町の持つ潜在能力を活かし、議会や町民の皆様と共に様々な課題へ果敢に挑戦していく。



千葉泰彦委員

野生鳥獣による人身被害を未然に防ぐ



森の越地区の未整備の緑地

条例補正予算審査特別委員会（畠山昌典委員長）は9月7日、条例5件、補正予算5件を審査。全ての議案を可決すべきものと決定。同日の本会議において原案どおり可決しました。

審査では、鳥獣被害対策防止緩衝帯整備事業や放任果樹伐採支援事業などの新規事業に対する質疑がありました。

ここでは、特別委員会の審査の中からのいくつかの内容を要約してお伝えします。

害 事業のスケジュールは 9月中には事業者決定

問 事業者はどういう形で選定をしているのか、スケジュールを伺う。

答 9月中には事業者を決定できるように進めていく。その前提として土地所有者との合意に時間がかかる可能性があるが、できるところから発注、作業を開始していく。

問 事業者の選定状況を伺う。

答 建設業協会の方たちへ声を掛けていく状況。建設業協会の方たちは、作業に必要な重機などを所有しており、地域貢献活動で役場裏側の山林を整備した実績もある。

まのすの声

持続的な取り組みや他地域での作業期待

岸岡 健太さん
(岩泉)

人里近くの緑地での刈払いや伐採は非常に有効だと思います。一度きりでない持続的な取り組みや他地域での作業など、今後の事業に期待します。併せて、より多くの人々が熊をはじめ野生動物の生態への理解を深めることも重要と感じるので、その入口として有識者を招いた勉強会なども期待します。

まずの声

一ツ葉高校の開校 地域の明るい話題

佐々木利和さん
(大川)



一ツ葉高校の開校は地域にとっても明るい話題で楽しみにしています。

若い人達の出入があるということは、高齢者の多い当地区にとって、刺激的で元気をもらえる良い機会になると思っていますが、長く継続できるよう、行政のバックアップが必須と考えています。

どのような交流ができるか、楽しみに待っています。

貸付 施設修繕の取り決めは 使用貸借契約に盛込む

問 施設の修繕に伴う費用負担は、どのように考えているか。

答 使用貸借契約において、修繕金額の上限を設定する予定。様々な状況に対応すべく、両者で協議すると、事項も明記する。

問 屋根部分の修繕の必要性は。

答 現状のまま貸すことになっている。将来的に借主側の要望があれば経営状況なども見極めながら負担割合なども含め協議する。使用貸借契約などの手続きまでに詰めたと考えている。

印鑑条例 対象者の人数は 外国人の方79人

問 特定在留カードまたは特定特別永住者証明書を加えるとなつていますが、対象者の人数は。また、国別の人数はわかるか。

答 令和8年7月31日現在の外国人人口は、男性が25人、女性が54人、合計79人となっている。国籍別では、インドネシアが7人、カメルーンが3人、フィリピンが2人、ベトナムが29人、ミャンマーが19人、ラオスが7人、そして韓国が1人、アメリカが5人で、計79名となっている。参考までに、この79人のうち印鑑登録をされている方は10名となっている。

問 マイナンバーカードは外国人の方も取得できるが、今後増

えていく可能性もあるのか。

答 新たに入国する際、期間、目的に応じて特定在留カードを取得するが、行政サービス等を外国人の方に適切に受けてもらうには、在留カード、印鑑証明の機能をひとつにし、マイナンバーカードの利

ざいりょう

在留カードとマイナンバーカードが ひとつのカードになります！

2026年
6/14
はじまります！

特定在留カード
(在留カードとマイナンバーカードがひとつになったカード)

在留カード
(海外から日本に入国する外国人が
入国からもらうカード)

マイナンバーカード
(日本で生活するために
必要になるカード)

申請(申し込み)をすると、特定在留カードをもらうことができます！
※特別永住者も、マイナンバーカードとひとつになった(特定特別永住者権限明書)を申請することができます。

マイナンバーカードについて
詳しくはこちら
<https://www.kojibango-card.go.jp/contact/>

申請方法(申し込みのやり方)など、
詳しいことは、入管のウェブサイトを見てください
<https://www.moj.go.jp/isa/tokutei.html>

出入国在留管理庁
Immigration Services Agency

在留カードとマイナンバーカードが
ひとつのカードになります。

まずの声

マイナンバーカード 便利なカードと実感

ス・アウンさん
(岩泉)



ミャンマーから来て町内で働いています。在留資格を持ち、岩泉町に住民票があるので、マイナンバーカードが交付されています。今までは在留資格カードとマイナンバーカードの二枚持ちで大変でしたが、一枚になるだけでも便利になりますね、仲間達にも教えてあげます。岩泉はとても平和で暮らしやすいですから仕事も頑張っていきたいと思っています。

一般質問



町の考えを問う

6人の議員が登壇

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。

9月定例会では、6人の議員が登壇し、町政課題への提言や質問を行いました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容（13ページから15ページ）を登壇順（質問順）にお知らせします。

はたけやま まさのり
畠山 昌典 議員（13ページ） ◎まちづくり商社設立を

おおやま ゆきまさ
大山 幸真 議員（13ページ） ◎町内経済の循環の評価は

さとう やすみ
佐藤 安美 議員（14ページ） ◎獣医師確保の対策は

*その他の質問
・廃校舎の管理について

はたけやま かずひで
畠山 和英 議員（14ページ） ◎介護施策の継続・堅持を

*その他の質問
・次期「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定 ・高齢者補聴器購入費助成事業
・緊急通報装置設置事業 ・配食サービス事業 ・「中期財政見通し」

はやしざき きょうじろう
林崎竟次郎 議員（15ページ） ◎保健師の増員を

*その他の質問
・地域新電力会社設立について

ちば やすひこ
千葉 泰彦 議員（15ページ） ◎「守り」「攻め」の戦略は

傍聴者の声

9月定例会の傍聴者は延べ8人でした。

傍聴された岩泉の佐々木嘉さんに傍聴した感想や議会に対する声を聴きました。



佐々木 嘉さん
(岩泉)

誰にでも分かりやすい
開かれた議会を期待

一般質問の趣旨が分かりやすく、答弁も適切で良かったと思います。

ただ、再質問に関しては、前置きが長いため傍聴者には何を聞きたいのかわかりにくい場面があり、もう少し分らないかと感じました。また、難しい用語とか表現は極力使用しないで、誰にでも分かりやすく、開かれた議会にしてほしいと思います。



一般質問全文は、町ホームページで公開しています。
スマートフォンはこちらから。



畠山 昌典 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 まちづくり商社設立を

答 調査研究進め構想練る

問 木炭や鹿肉加工品をはじめとする町内物産品について、町は現在の販路拡大における最大のボトルネックをどのように分析しているか。全国の先進地では、「地域商社（まちづくり商社）」を設立し、地域外から外貨を稼ぐ仕組みを構築している。本町においても、個々の商品を、点ではなく「岩泉ブランド」という面で捉え、強力なセールス部隊となる「まちづくり商社」を設立すべき。

町長 本町の地域産品

が持つ潜在的価値が市場に十分届いていない背景には、商品が市場で評価されるための競争力や付加価値の不足、安定供給能力などの複合的な要因があるものと認識。

「まちづくり商社」の設立については、全国の先進地事例を研究しており、販路拡大や地域外からの外貨獲得において、非常に効果的な仕組みである一方、



高品質な岩泉町の木炭、持続可能な産業へ、対策は待った無しです。

17文字の
ひとりごと

ブランド化

知恵を出し合い

チャレンジを

課題としては、商社の運営に必要な資金や人材、地域住民との連携構築が挙げられる。これらが円滑に進まなければ、まちづくり商社の効果は限定的となることも懸念され、その実現に向けて引き続き調査研究を進めるとともに、町内外の専門家や関係機関と連携し、具体的な構想を練る。

問 町内経済の循環の評価は

答 最重要施策であると認識

問 「雇用機会の拡大と町内経済の循環を高め、持続可能な地域の発展につなげていく」という方針について、その進捗や達成度合いをどう評価しているか。

町長 プレミアム商品券の発行、町内事業者からの調達を条件とした補助事業など、地域



大山 幸真 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 町の発注事業における地元優先の徹底、

内消費の維持・促進を図ってきた。中小企業・事業者向けの経営支援・資金調達支援として、各種利子補給補助事業による経営改善や施設投資への支援を行ってきた。これらの施策は、一助になったものと理解している。

町長 町内事業者を第一に考え、受注機会の創出に努めていく。地域新電力会社については、事業化に向けた具体的な段階に移行しつつある。



町内経済の一翼を担う岩泉商工会が事務所を構える岩泉観光センター

17文字の
ひとりごと

町内を

第一に考え

回す金



佐藤 安美議員

一般質問・答弁
全文はこちらから

問 獣医師確保の対策は

答 関係機関と協議継続

問 町内の開業獣医師2名は、昼夜問わず診療していたが、令和6年度で廃業となり、当地区は獣医師が不在の状況にある。今後の対応は。

町長 関係機関と協議

を継続した結果、盛岡市在住の獣医師と令和9年度から当地域での開業について意思確認をすることができた。開業に向けて、必要な資機材等の支援が必要であると考へ、本定例会の補正予算において



開業獣医師による診療の様子

17文字の
ひとりごと

畜酪に
地域獣医師
欠かせない

て、獣医師確保対策事業補助金を提案している。畜産経営に取り組むための重要な基盤であり、開業後も支援体制を継続する必要があると認識している

問 旧大川中学校の屋根の現状を見れば、あまりにも酷い。雨漏りしてからでは、修繕費に多額の費用が掛かる。早急に対策すべきではないか。

町長 屋根の老朽化の状況は十分に把握している。今後、施設の安全性や長期的な運用を見据え、運営会社と協議、費用負担の在り方について話し合いながら良好な環境の整備に努める。

問 介護施策の継続・堅持を

答 サービス提供は維持図る

町長 介護保険サービス利用者数は減少傾向にあり、介護事業者は経営が難しい状況で、サービス基盤の維持が課題である。必要なサービス提供体制が維持できるように地域の資源を最大限活用して継続できるように努める。

問 要介護認定者の減少、介護保険財政状況など勘案するに、介護保険料は引上げなくとも、「介護保険サービス」の継続、堅持を図るべきだ。町長の所見は。

町長 将来人口、標準給付費・地域支援事業費など推計段階だが、利用者数は減少し、介護報酬の大幅な増額改定や第1号被保険者の保険料負担割合の増加などの大きな制度変更がなければ、保険料の大きな負担増加にはならないものと考えている。



畠山 和英議員

一般質問・答弁
全文はこちらから

17文字の
ひとりごと

介護計画
地域で描く

安心網



「テーブル囲み和気あいあい」大川指定通所介護事業所



林崎寛次郎議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 保健師の増員を図れ

答 採用活動を継続する

問 高齢者は慢性疾患の重複やフレイル（心身の衰え）、社会的つながりの低下等、幅広い多面的な支援が必要になりやすい。

介護の地域支援事業や保険事業の取組みはどうなっているか。

これらの取り組みは保健師が中心になって

いる。保健師の増員を図るべきではないか。

町長 フレイル予防を目的とした介護予防教室やいきいき百歳体操を実施している。また、社会とのつながりの促進を支援するため、サロンなど通いの場や子ども食堂において、参加者からの相談を受け、地域の高齢者の状況を共有すること、支援が必要なものに早期に対応できるように、関係者間のネットワーク



百歳体操を楽しむ地域の皆さん

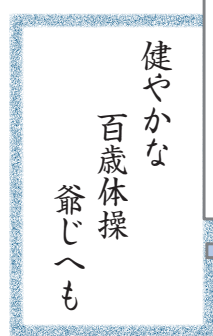
クの構築に取り組んでいる。

保健師の増員については、毎年度保健師の募集を行っているが、今年度、4年振りに採用できたところであり、引き続き採用活動を継続していく。

健やかな
百歳体操

爺じへも

17文字の
ひとりごと



問 「守り」「攻め」の戦略は

答 データとニーズ分析し立案

「守り」の行財政基盤

問 組織再編や事業見直しの進捗は。

町長 組織再編は令和9年4月スタートに向けて検討中。事業見直しは職員提案を精査している。

問 公共交通の最適化とデマンドタクシーの運用方針は。

町長 地域特性や住民ニーズを踏まえ、事業者とも協議し最適化に取り組む。

問 1期4年ロード



千葉 泰彦議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



マップの提示は。

町長 総合計画との整合性を図りながら、総合計画と併せ議会へ報告する。

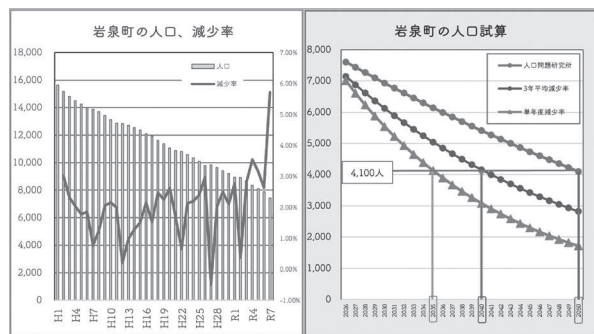
「攻め」の行財政基盤

問 人口動態や女性、子育て世代の意識調査の施策への活用は。

町長 データ分析やアンケート結果を総合計画策定や定住促進施策の改善に活用する。

問 地域力創造アドバイザー事業と民間の受け皿育成は。

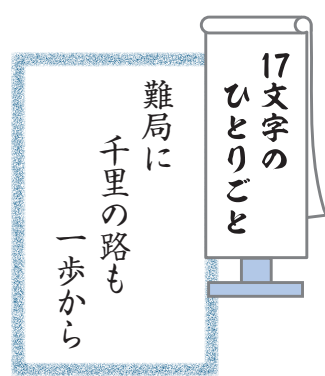
町長 総合計画でも重点施策とし、民間の知見を取り入れ民間主導の活動を活性化する。



人口減少待ったなし

17文字の
ひとりごと

難局に
千里の路も
一歩から



総務

公共交通や いわて留学を調査

総務常任委員会（千葉泰彦委員長）は、9月15日から9月17日にかけて所管事務調査を実施しました。

16ページでは3点の調査した内容をお伝えします。

公共交通の現況

【現状を把握】

令和6年度で6800万円の公共交通費の支出。公共交通機関の利用率と利便性の向上を図る必要がある。また、地域間、路線間に費用負担の格差が生じている。

【今後の課題】

町民バスを中心として、福祉事業、スクールバスの混乗、デマンドタクシー、カーシェアリングなど様々な交通手段を含め、予算を有効に使い、人口減少を考慮しながら、総合

的な交通体系の見直し
が求められる。

【所感】

町民バスの公共性と

ますの声

立花シツ子さん（小川）

私のところは、バス停まで距離があり、出かけるのが大変です。通院などのために、自宅から乗れて、バスに接続する安価な料金の移動手段があれば、皆さんも助かると思います。



様々な交通手段の利便性を、地域の実情に合わせて、総合的な交通体系を再構築する必要があります。

地域のあり方検証

【現状を把握】

町の人口は、令和年8月31日時点で7426人、2050年は、4100人になる推計（国立社会保障・人口問題研究所、日本の将来推計人口（全国））。

【今後の課題】

行財政改革の推進と、次期町づくり総合計画に、人口減少の抑制を図りながら、持続可能な町づくりが求められる。

ますの声

前角地倫子さん（岩泉）

町では、いろんな分野で後継者を育てることが大事ですね。

私は、歳を取り、必ず皆さんのお世話になる時が来るので、日頃から心してご近所と仲良くしています。



【所感】

人口減少下で、今までと同じ事業や、行政サービスは難しくなり、人口や経済状況の縮少を前提として、安心して暮らしていける町づくりの再構築が必要である。

いわて留学の運用

【現状を把握】

岩手県主導の留学制度。岩泉高校の2クラス制を維持しながら、学力向上や、文化、芸術、スポーツの交流を

図る。

【今後の課題】

県外高校生の受入れ体制の整備を行い、岩泉高校の魅力化と、併せて地域の活性化を図ることが求められる。

【所感】

いわて留学の制度により、岩泉高校の2クラス制が維持され、充実した教育環境づくりのため、事業の継続が必要である。

ますの声

工藤 久子さん（小川）

岩泉高校は、海外短期派遣事業や、郷土芸能同好会への補助など様々な支援があり、日々、子の成長を実感しています。特色があり魅力ある学校だと思います。継続していただければと思います。



おしえてぴーちゃん

所管事務調査って？

事務調査（所管事務調査）とは、議会の常任委員会が、自らが所管する分野（総務、文教、厚生など）の行政事務について、条例の立案や政策提言などを目的に、自主的に行う調査活動のことです。

議案審査とは異なり、政策形成の段階から関与し、町に具体的な改善策や新しい施策を提案することで、町政を監視・チェックし、より良い町政運営に貢献する役割を担います。



所管事務調査で町当局と意見交換

株式会社 岩泉きのこ産業

産 業



安全・安心なシイタケの生産現場を視察しました。

地場産業の振興と 持続可能性を探る

～岩泉きのこ産業・釜津田木炭製造業を視察～

産業常任委員会（畠山和英委員長）は、町内の主要な地場産業の現状と今後の課題を把握し、地域経済の活性化策に向けた調査研究を行うため、町内視察を実施しました。

今回は「岩泉きのこ産業」と「釜津田木炭製造業」の2箇所を訪れ、生産現場の状況や関係者の取り組みについて説明を受けました。

【視察目的】

きのこ生産の現状と、事業継続に向けた取り組みの確認

【視察内容・状況】

◆ 高度な温度・湿度管理のもとで行われている、安全・安心なシイタケ等の生産現場を視察しました。

◆ 近年の原材料費やエネルギーコストの高騰が経営に与える影響について説明を受けました。

◆ 地域雇用の受け皿としての役割や、販路拡大に向けた今後の戦略について意見交換を行いました。

【所感】

岩泉の特産品を全国に発信する重要な拠点であり、安定的な生産体制の維持とブランド力の強化に向け、町としても継続的な支援のあり方を検討していく必要があります。

釜津田木炭製造業



原木調達から焼き上げまでの工程について説明を受けました。

【視察目的】

伝統的な地域産業である木炭製造の現状と、後継者育成・森林資源活用の課題調査

【視察内容・状況】

◆ 釜津田地域における伝統的な木炭づくりの木炭窯を視察し、原木調達から焼き上げまでの工程について説明を受けました。

◆ 担い手の高齢化や後継者不足、さらには原木確保、販路開拓における課題について切実

【今後の取り組み】
今回の視察で得た貴重な意見や現場の課題を持ち帰り、今後の委員会討議や一般質問等を通じて、町の産業振興策へしっかりと反映させてまいります。

【所感】

「地域に根ざした産業の現場を直接見て、生産者の生の声を聴くことができました。岩泉の強みである豊かな自然と資源を活かした産業が持続できるよう、議会としても積極的に提言を行っていきます。」

【所感】

岩泉の貴重な伝統文化であり産業である木炭製造を守るため、森林整備や林業との連携を強め、付加価値をつけられる販路開拓、担



町内でも販売されている岩泉炭

広報広聴

住民に開かれた

議会を目指して

～先進地・金ヶ崎町議会に学ぶ「議会広報」のあり方～

広報広聴常任委員会（畠山昌典委員長）は、

町民の皆様にもっと読まれ、親しまれる議会

だより」を目指し、このほど、全国町村議会広

報コンクール等で高い評価を受けている岩手県

金ヶ崎町議会へ行政視察に行ってきました。

今回の視察で学んだ内容について報告します。



金ヶ崎町議会の議会だより編集の裏側や
ノウハウについて学びました。

◆なぜ「金ヶ崎町議会」を視察？

～視察の背景と目的～

「いわずみ議会だより」をより手に取りやすく、分かりやすい紙面へとブラッシュアップするためには、

全国や県内の先進的な取り組みから学ぶことが不可欠です。

金ヶ崎町議会は、定例会ごとに年4回発行している『議会だよりかねがさき』において、住民目線に立ったレイアウトの工夫や、専門用語をかみ砕いた親しみやすい誌面づくりを長年実践しており、私たちの大きな目標となっています。

◆金ヶ崎町議会の広報の取り組み
～視察内容～

現地では、金ヶ崎町議会の議長はじめ、広報委員の皆様や事務局のご協力のもと、編集の裏側やノウハウについて詳しくお話を伺いました。

「パッと見て伝わる」レイアウトと紙面構成

文字情報を極力減らし、写真や図解、色使いを工夫することで、

ページを開いた瞬間に興味を惹きつける紙面づくりを行っていました。

◆住民目線での原稿・表現の工夫

一般質問や委員会での質疑が住民のくらしにどう影響するのかという「視点」を意識し、

分かりやすい見出しやリード文に再構築している点が徹底されていました。

◆広報委員会の一体感と編集プロセス

委員全員が当事者意識を持ち、何度も校正や意見交換を重ねること

で、偏りのない、洗練された誌面に仕上げ

る体制が構築されていました。

◆岩泉町の今後の取り組みに向けて

～まとめ～

今回の金ヶ崎町視察を通して、私

たちが持ち帰るべき多くのヒントと刺激を得ることが

できました。「いわずみ議会だより」も、今回の学びを活かして「手

に取りたくなる、分かりやすく、町民の皆様と議会を

つなぐ架け橋となる広報誌」へさらに進化させてまいります。今後の誌面リニューアルや紙面づくりにぜひご期待ください!!

住民目線に立って発行されている議会だよりかねがさき

議会だよりかねがさきは

こちらから



住民目線に立って発行されている
議会だよりかねがさき



議会だよりかねがさきは
こちらから



金ヶ崎町議会広報常任委員会の皆さん、
視察対応ありがとうございました。



質疑のその後

どうなりゃんした…

あの提言

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問などから一部を取り上げ、その後どうなったか追跡します。

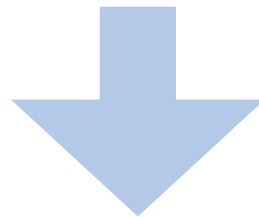
答 公園の必要性は認識している。B & G 海洋センター東側の「レクリエーション広場」が適地の一つであると考えており、今後、ミニ公園・憩いの場の整備に向けた調査・検討を進めていく。

問 広めの町有地で公園になりうる場所の整備について、清水川沿いの現在駐車場として使われている岩泉公民館跡地やB & G 海洋センターの東側の空き地も候補地の一つであると考え。これらの候補地を公園としても活用するよう検討すべきと考えるがどうか。

令和3年第4回定例会
一般質問

公園

町有地への公園整備は 整備に向け検討進める



令和8年4月

令和7年度のレクリエーション広場整備事業で遊具設置工事、敷砂工事が完了。
令和8年4月17日に岩泉レクリエーション公園オープニングセレモニーが開催されました。



オープニングセレモニーでのテープカット



新しい遊具で楽しく遊ぶ子供たち

まのすの

親子の憩いの場 良好な状態望む

佐々木幸恵さん
(いわいずみこども園保育士)



町内の身近な場所に子ども達が自由に遊べる広場ができて、こども園やプライベートでも遊びに来ています。みんなが喜んでいるこの場所が良好な状態で保たれることを望みます。

練習に励み

記録を伸ばしたい

表紙によせて

相沢結衣さん（岩泉中2年生）は、特設陸上部に所属し、日頃は仲間達と基礎練習に取り組んでいます。走高跳を始めたきっかけについて、「兄も走高跳をやっていたので、小学校から始めました。力を込めて跳ぶたびに記録が伸びていくのが嬉しいですね」と笑顔

で応えます。

今年の全日本中学校陸上競技選手権大会の会場は山口県山口市でした。「全国のレベルを目の当たりにしました。練習に励み、レベルアップして、記録を伸ばしたいと改めて強く思いました。」と目を輝かせて、意気込みを話してくれました。



岩手県中学校総合体育大会陸上競技大会
表彰式での喜びの一コマ

議員は何してんのや

議員や議会は何をしているの？という声を聞きます。ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。
(全日程はQRコードで)



議会の動き

6月

22日 広報広聴常任委員会（役場）

7月

- 8日 外山早坂県立自然公園協会定時総会（町内）
- 9日 岩手県町村議会議長会政務調査会・研修会（10日まで）
- 11日 町内県道整備促進住民総決起大会
- 12日 花巻市合併20周年記念式典
- 13日 広報広聴常任委員会（役場）
- 15日 小本港湾開発整備促進期成同盟会定例総会
- 23日 産業常任委員会所管事務調査（町内）

8月

- 1日 戦没者追悼式（町内）
- 3日 岩泉町表彰選考委員会（役場）
- 4日 宮古地区鉄道利用促進協議会総会（宮古市）
- 5日 町村議会夏季議員大学講座（盛岡市）
- 6日 宮古地方日本短角種共進会（町内）
- 7日 宮古地区広域市町村議会連携会議（宮古市）

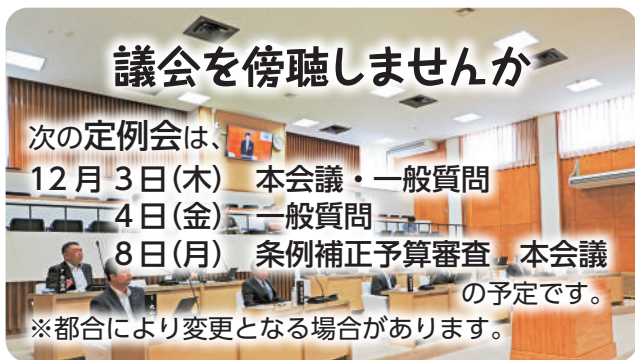
- 18日 第3回臨時会（議会議事堂）
- 20日 三県合同中央研修会（21日まで）（東京都）
- 21日 県選出国會議員との懇談会（東京都）
- 23日 岩泉町郷土芸能祭（町内）
- 26日 広報広聴常任委員会視察研修（金ケ崎町）
- 30日 大川七滝夏まつり（町内）
岩泉松茸神社豊作祈願祭（町内）
- 31日 議会運営委員会（役場）

9月

- 3日 第3回定例会一般質問（議会議事堂）
- 4日 一般質問（議会議事堂）
- 7日 条例補正予算等審査特別委員会（役場）
本会議（議会議事堂）
- 9日 決算審査特別委員会（役場：11日まで）
本会議（議会議事堂）

議会を傍聴しませんか

次の定例会は、
12月3日(木) 本会議・一般質問
4日(金) 一般質問
8日(月) 条例補正予算審査 本会議
の予定です。
※都合により変更となる場合があります。



編集後記

▽秋もあつという間に、段々と冬の訪れを感じる今日この頃です。今年には気象状況が良く松茸も豊作の様で秋の味覚を堪能できた方も多かったのではないのでしょうか。

さて、我々、広報広聴常任委員会では9月中旬から本誌の準備や取材、文章作成を行い、町民の皆様には取材の御協力を頂きまして感謝致しているところでございます。誠にありがとうございます。今後も町民の声を頂戴しながら見やすく分かりやすい広報づくりへと尽力して参ります。この度も議会だよりをご覧頂きまして誠にありがとうございました

広報広聴常任委員
大山 幸真



町HP
議会だより

広報広聴常任委員会

委員長	副委員長	委員
畠山 昌典	小松 ひとみ	林 崎 寛次郎
菊池 孝広	幸 照 夫	幸 真
大 山	大 山	大 山



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問一答に寄与した紙」を使用しています。

